



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 THK株式会社

コード番号 6481 URL <http://www.thk.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺町 彰博

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部財務経理部長 (氏名) 中根 建治

TEL 03-5434-0300

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	112,186	5.6	12,488	△12.7	11,694	△24.4	7,709	△29.2
27年3月期第2四半期	106,207	19.2	14,300	91.0	15,472	42.0	10,887	52.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 8,327百万円 (139.7%) 27年3月期第2四半期 3,474百万円 (△82.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	60.90	—
27年3月期第2四半期	86.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	410,695	255,024	61.5	1,994.20
27年3月期	373,610	250,498	66.3	1,957.48

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 252,442百万円 27年3月期 247,797百万円

・当社グループは、平成27年8月31日にTRW Automotive Inc. (現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業)の欧州及び北米のL&S(リンケーージ アンド サスペンション)事業を譲り受けました(一部は株式取得による子会社化)。当第2四半期の被取得企業及び取得した事業の業績は、四半期連結貸借対照表には含めておりますが、四半期連結損益計算書には含めておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	215,000	△1.2	21,000	△26.0	19,600	△42.4	13,300	△41.4	105.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

・TRW Automotive Inc.の事業の譲り受けによる平成28年3月期の連結業績予想への影響については確定次第、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

THK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION、THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED、THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH、THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a.s.  
 新規 4社 (社名) 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	133,856,903 株	27年3月期	133,856,903 株
28年3月期2Q	7,268,351 株	27年3月期	7,266,746 株
28年3月期2Q	126,589,455 株	27年3月期2Q	126,592,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(企業結合等関係)	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとする新興国の経済成長が鈍化した一方、欧米を中心とした先進国がけん引役となり世界経済は緩やかな回復が続きました。日本では経済は緩やかな回復が続いたものの、生産や輸出など一部に弱い動きが見られました。

当社グループでは、LMガイドをはじめとした当社製品の市場を拡大すべく「グローバル展開」と「新規分野への展開」を成長戦略の柱として掲げています。グローバル展開においては、中国をはじめとした新興国ではFA (Factory Automation) の進展などを背景としてマーケットは成長し、先進国でもユーザーの裾野が広がる中、これらの需要を取り込むべくグローバルで販売網の拡充に努めています。新規分野への展開においては、医療機器や航空機、ロボット、再生可能エネルギーなど新たな分野で当社製品の採用が広がる中、従来品のみならず新規開発品の売上高の拡大を図っています。これらに加え、営業体制の強化や市場調査などマーケティング戦略機能の強化により売上高の拡大に努めています。なお、輸送用機器関連事業のさらなる拡大を目的として、当社グループは平成27年8月31日にTRW Automotive Inc. から欧州及び北米のL&S (リンケージ アンド サスペンション) 事業を譲り受けました。

当第2四半期連結累計期間においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めたことに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、連結売上高は前年同期に比べて59億7千9百万円(5.6%)増加し1,121億8千6百万円となりました。

コスト面では、将来の成長に向けた投資に伴う固定費の増加などにより、売上高原価率は前年同期に比べて0.5ポイント上昇し69.4%となりました。

販売費及び一般管理費については、売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めた一方、事業譲受に伴う取得関連費用が11億2千5百万円発生したことなどにより、売上高に対する比率は前年同期に比べて1.9ポイント上昇し19.5%となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期に比べて18億1千1百万円(12.7%)減少し124億8千8百万円となり、売上高営業利益率は2.4ポイント低下し11.1%となりました。

営業外損益では、営業外収益は、持分法による投資利益が3億9千7百万円となったことに加え、受取利息が2億2千5百万円となったことなどにより、12億6千9百万円となりました。営業外費用は、為替差損が15億8千8百万円となったことに加え、支払利息が1億7千7百万円となったことなどにより、20億6千4百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期に比べて37億7千8百万円(24.4%)減少し116億9千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億7千8百万円(29.2%)減少し77億9百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本では、経済は緩やかな回復が続いたものの、生産や輸出など一部に弱い動きが見られました。そのような中、当社においては積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めました。スマートフォンやタブレットPCなどに関わる投資に牽引されていた小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少したことなどにより、売上高は前年同期に比べて15億6百万円(2.5%)減少し590億5千8百万円となりました。利益面では、主に売上高の減少により、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて6億1千3百万円(5.1%)減少し114億3千2百万円となりました。

(米州)

米州では、好調な個人消費を背景に設備投資が増加するなど経済は拡大しました。そのような中、当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めた結果、一般機械や輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができました。さらに為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、売上高は前年同期に比べて34億4千万円(20.5%)増加し201億9千5百万円、セグメント利益(営業利益)は2億4千万円(28.8%)増加し10億7千5百万円となりました。

(欧州)

欧州では、引き続き経済に回復の動きが見られる中、当社においては製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、航空機や鉄道車両、家財、宇宙防衛関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、工作機械や一般機械向けなどにおいて売上高を増加させることができ、売上高は前年同期に比べて5億7千1百万円(5.5%)増加し108億7千1百万円となりました。一方、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べて4億6千2百万円(49.6%)減少し4億6千8百万円となりました。

(中国)

中国では、経済成長は鈍化した一方、賃金の上昇や人手不足などを背景にFAが進展し当社製品への需要の裾野が着実に広がる中、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、売上高は前年同期に比べて27億2千4百万円(21.7%)増加し152億7千1百万円となりました。一方、利益面では、将来の成長に向けて投資を積極化させてきたことなどにより、前年同期に比べて2億5千4百万円減少し、セグメント損益(営業損益)は8千7百万円の損失となりました。

(その他)

その他では、アセアンにおいてはカスタマーサポートセンターを設置し、インドでも新たに販売拠点を開設するなど販売網の拡充を進める中、既存顧客の深耕を図るとともに新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことにより、売上高は前年同期に比べて7億5千万円(12.4%)増加し67億9千万円、セグメント利益(営業利益)は2億5千8百万円(44.1%)増加し8億4千5百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形及び売掛金が100億8百万円、商品及び製品が35億1千8百万円、原材料及び貯蔵品が34億1千4百万円、機械装置及び運搬具（純額）が58億8千8百万円、のれんが333億8千2百万円増加しましたが、現金及び預金が272億8千7百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ370億8千4百万円増加の4,106億9千5百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が86億9千9百万円、短期借入金が239億8千4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ325億5千9百万円増加の1,556億7千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が39億1千1百万円、為替換算調整勘定が11億7千9百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が4億3千5百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ45億2千5百万円増加の2,550億2千4百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、本日（平成27年11月12日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したTHK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION及びTHK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITEDを連結の範囲に含めております。また、新たに株式を取得したTHK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH及びTHK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a. s. を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

一部の連結子会社については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,125百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	155,239	127,951
受取手形及び売掛金	58,276	68,285
電子記録債権	5,174	5,604
商品及び製品	13,738	17,257
仕掛品	6,184	7,303
原材料及び貯蔵品	13,051	16,466
その他	8,895	10,930
貸倒引当金	△145	△70
流動資産合計	260,414	253,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,473	33,334
機械装置及び運搬具（純額）	44,307	50,195
その他（純額）	20,952	24,760
有形固定資産合計	97,732	108,290
無形固定資産		
のれん	580	33,962
その他	3,821	3,966
無形固定資産合計	4,401	37,928
投資その他の資産		
投資有価証券	8,096	7,580
その他	3,012	3,210
貸倒引当金	△47	△44
投資その他の資産合計	11,062	10,747
固定資産合計	113,196	156,966
資産合計	373,610	410,695



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,298	22,998
電子記録債務	15,255	16,912
短期借入金	149	24,133
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	7,413	3,807
賞与引当金	3,225	3,564
その他	12,828	14,123
流動負債合計	60,171	92,538
固定負債		
社債	43,000	43,000
長期借入金	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	110	119
製品保証引当金	156	137
退職給付に係る負債	4,964	4,918
その他	4,708	4,958
固定負債合計	62,940	63,132
負債合計	123,112	155,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,606	34,606
資本剰余金	44,584	44,584
利益剰余金	158,463	162,375
自己株式	△13,943	△13,948
株主資本合計	223,711	227,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,312	876
為替換算調整勘定	22,940	24,119
退職給付に係る調整累計額	△166	△172
その他の包括利益累計額合計	24,086	24,824
非支配株主持分	2,701	2,581
純資産合計	250,498	255,024
負債純資産合計	373,610	410,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	106,207	112,186
売上原価	73,205	77,804
売上総利益	33,001	34,382
販売費及び一般管理費	18,700	21,893
営業利益	14,300	12,488
営業外収益		
受取利息	243	225
持分法による投資利益	306	397
為替差益	457	—
その他	530	646
営業外収益合計	1,538	1,269
営業外費用		
支払利息	204	177
為替差損	—	1,588
その他	162	298
営業外費用合計	366	2,064
経常利益	15,472	11,694
特別利益		
固定資産売却益	7	31
特別利益合計	7	31
特別損失		
固定資産除売却損	19	231
特別損失合計	19	231
税金等調整前四半期純利益	15,460	11,493
法人税、住民税及び事業税	5,370	3,816
法人税等調整額	△786	118
法人税等合計	4,584	3,934
四半期純利益	10,876	7,558
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△150
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,887	7,709

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	10,876	7,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	△436
為替換算調整勘定	△7,462	1,458
退職給付に係る調整額	44	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△205	△251
その他の包括利益合計	△7,402	768
四半期包括利益	3,474	8,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,035	8,446
非支配株主に係る四半期包括利益	△561	△119

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	15,460	11,493
減価償却費	5,481	5,969
固定資産除売却損益(△は益)	18	200
引当金の増減額(△は減少)	388	257
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	68	△38
受取利息及び受取配当金	△285	△270
支払利息	204	177
為替差損益(△は益)	△1,254	1,408
持分法による投資損益(△は益)	△306	△397
のれん償却額	176	189
売上債権の増減額(△は増加)	△9,062	△2,625
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,729	△4,179
仕入債務の増減額(△は減少)	5,290	2,921
その他	276	△1,278
小計	14,727	13,828
利息及び配当金の受取額	488	490
利息の支払額	△221	△171
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,833	△7,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,161	6,549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△3,568	△6,859
固定資産の売却による収入	182	602
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△24,667
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	1	0
事業譲受による支出	—	△22,135
その他	△29	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,423	△53,072
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	23,818
長期借入れによる収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△1,894	△3,792
非支配株主への配当金の支払額	△15	—
自己株式の取得による支出	△4	△4
リース債務の返済による支出	△133	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,047	19,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,486	△635
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,203	△27,287
現金及び現金同等物の期首残高	138,343	155,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,546	127,951

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	中国	その他	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	60,565	16,754	10,300	12,546	6,039	106,207	—	106,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,794	19	16	1,849	554	24,234	(24,234)	—
計	82,360	16,774	10,316	14,395	6,593	130,441	(24,234)	106,207
セグメント利益	12,046	835	931	166	586	14,565	(264)	14,300

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州……………アメリカ等

(2) 欧州……………ドイツ、フランス等

(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	中国	その他	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	59,058	20,195	10,871	15,271	6,790	112,186	—	112,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,704	10	7	3,424	746	26,892	(26,892)	—
計	81,763	20,205	10,878	18,695	7,536	139,079	(26,892)	112,186
セグメント利益又は損失(△)	11,432	1,075	468	△87	845	13,734	(1,245)	12,488

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本、中国以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州……………アメリカ等

(2) 欧州……………ドイツ、フランス等

(3) その他……………台湾、シンガポール等

3. セグメント利益又は損失の調整額1,245百万円には、セグメント間取引消去120百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,125百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「米州」セグメントにおいて、TRW Automotive Inc.からの事業譲受により、のれんが13,336百万円増加しています。

「欧州」セグメントにおいて、TRW Automotive Inc.からの事業譲受及びTHK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a.s. (旧 TRW-DAS. a.s.) の全株式取得による子会社化に伴い、のれんが20,192百万円増加しています。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

## (企業結合等関係)

## 1. 取得による企業結合

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及び取得した事業の内容

被取得企業の名称	TRW-DAS. a. s.
事業譲受の相手先企業の名称	TRW Automotive Inc.
事業の内容	L & S (リンケージ アンド サスペンション) 事業

## ② 企業結合を行った主な理由

欧州および北米での開発、製造、販売機能等を拡充し、アジアパシフィックを加えたグローバルレベルでの事業基盤を確立するため。

## ③ 企業結合日

平成27年8月31日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得及び事業譲受

## ⑤ 結合後企業の名称

THK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION  
 THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED  
 THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH  
 THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a. s.

## ⑥ 取得した議決権比率

THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a. s. 100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得及び事業譲受のためであります。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業及び取得した事業の業績の期間

被取得企業及び取得した事業の業績は、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には含まれておりません。

## (3) 被取得企業の取得原価、取得した事業の取得価額及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	47,682百万円
取得原価		47,682百万円

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれん

33,529百万円

なお、のれんは当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## ② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

## ③ 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間において均等償却します。なお、償却期間については、取得原価の配分の結果を踏まえて決定する予定であります。